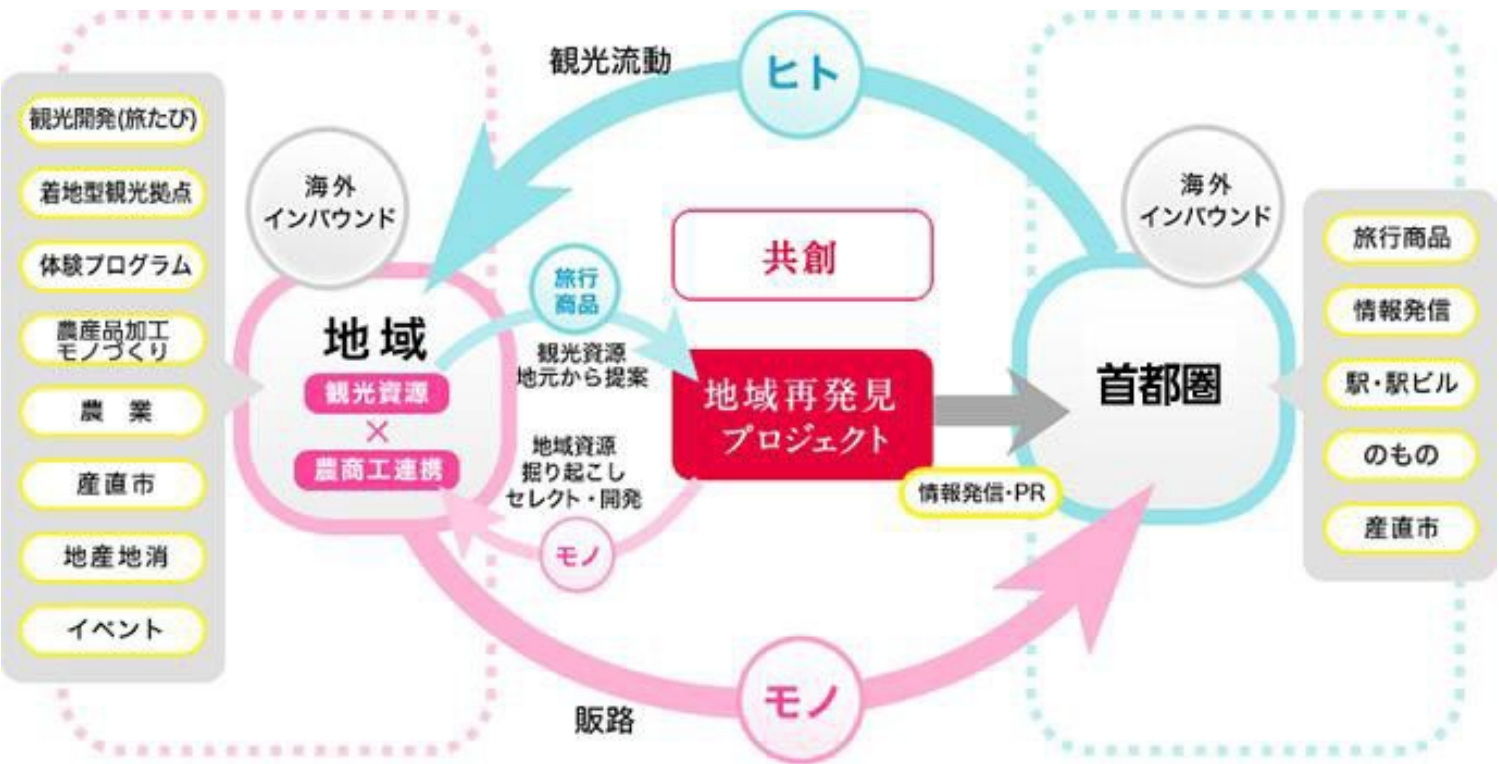


JR東日本における農業等 地方創生に関する取り組みについて

**東日本旅客鉄道株式会社
マーケティング本部 観光・地域活性化UT
益子 洋平**

地方創生：地域再発見プロジェクト（2009年～）



■プロジェクト発足経緯

地方においては人口減少や少子高齢化、都市への一極集中などの進展により、経済面だけでなく、それぞれの地域が持つ文化や伝統、技術の存続も危ぶまれている。
 このような状況の中、鉄道ネットワークを基軸としたＪＲ東日本グループの事業展開を継続・拡大するためには、それぞれの地域が持つ魅力を高めることで、経営基盤の強化を実現を目指し発足

■戦 略

地域と共に知恵を絞り、鉄道ネットワークの特性、首都圏ターミナル駅での販路や広告媒体を持つメリットを活かして“ヒト”と“モノ”の交流を図ることで、首都圏と地域の間で循環を生み出す。

いわき産トマトの需要拡大といわきの交流人口増加

- 福島県いわき市は、日照時間が長く農業が盛んであったが、原発の風評で需要激減。その中で先進技術を活用してトマト生産に取り組む地域農家と提携し、法人を設立。
- 太陽光利用型植物工場により、安全安心で美味しいトマトの安定生産をめざす。
- 隣接する「ワンダーファーム」や首都圏のグループ会社と連携して、トマトの6次産業化を積極的に推進、多くのお客さまにトマトを通じて“いわき”の価値や魅力を伝えたい。



加工場事例：青森県 シードル（りんご酒）醸造施設



A-FACTORY

A-FACTORY

：青森のりんごを原料に使用した“AOMORI CIDRE”製造・販売（青森市/弘前市）
地域事業者と「あおりりんご酒推進協議会」設立 ⇒ 地域産業を目指し活動を継続

2010年12月4日オープン

【青森駅徒歩1分】

- ・ショップ
- ・レストラン
- ・製造工場
（りんごシードル）



農業副業の開始～地域特産品への貢献～

【2023年6月～】

◆アプリ事業者と連携し企業人の農業副業アプリ「day work for Biz」をスタート

◆果樹の農繁期を中心に、企業人が1日単位で農家さんのお手伝い

◆副業禁止企業は「ボランティア」応募機能で利用可能



[副業で地方創生～企業人と地域農家をマッチング～ \(youtube.com\)](https://www.youtube.com/watch?v=...)